

事業の背景と目的

1 事業の背景

泰阜村は長野県の南部、愛知県・静岡県との県境地域にあります。

周囲を山や川で分断されているため、地域の中心都市である飯田市と隣接していますが、交通の便はよくありません。

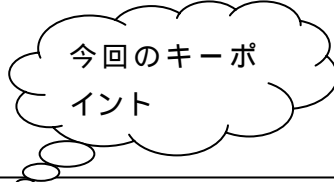
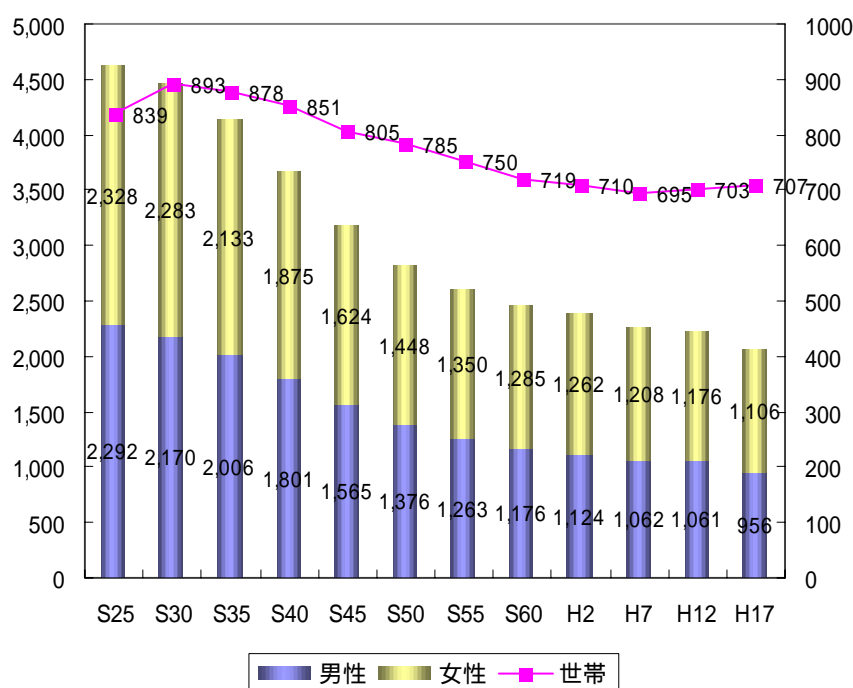
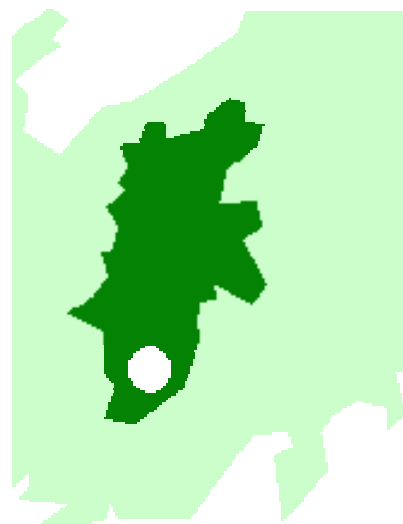
県庁所在地である長野市からの所要時間は、自動車ですら3時間程度、首都圏からの所要時間は5時間程度と大変遠い場所です。

人口も年々減少するとともに、高齢化が進んでいます。

かつてはコンニャクの有力な産地だった時期があるのですが、村内に耕作を放棄した農地が見られるようになってきました。

これまで、企業誘致等過疎対策に努力してきましたが、条件的に不利な地域で、なかなか進むものではありません。

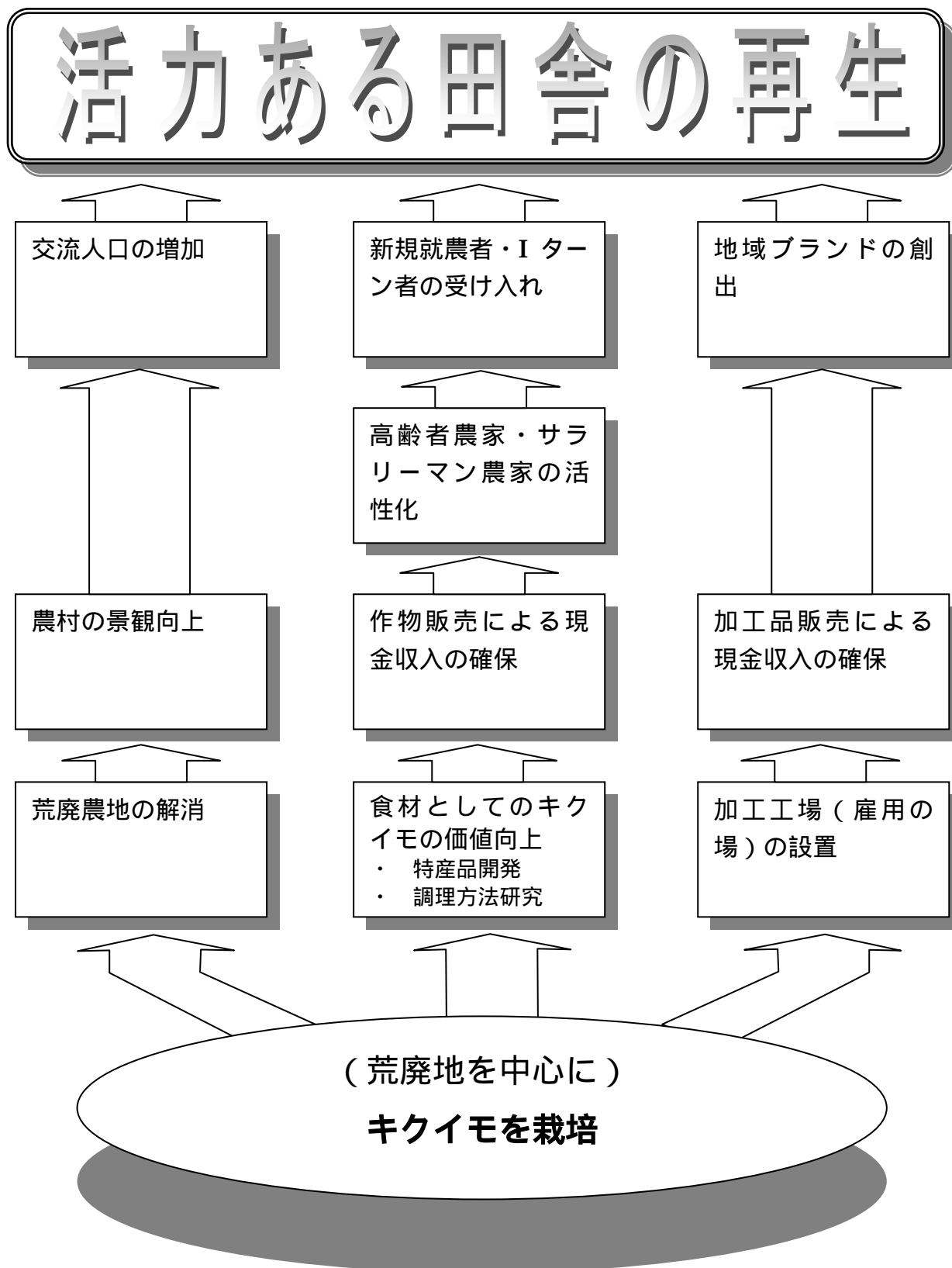
そこで、「できるだけ手数をかけないで村内にある資源を活用した産業（第1次産業）の振興」に取り組むことにしました。



- ・ 一般に流通している農作物ではないこと（輸入作物と競合しないこと）
- ・ 広い面積の畑が確保できない土地でも取り組めること
- ・ サラリーマンと兼業して、わずかな労力で一定の成果をあげられること
- ・ 初期投資として高額な資金が必要でないこと

2 事業の目標

(1) 事業全体のフロー図



(2) 今年度の目標数値

- キクイモ耕作者20名以上の確保
- キクイモ耕作地50 の確保
- 年度途中でキクイモに関心を持ってくれる人を増やすイベントの開催
 - ・ キクイモの花を愛でる会 参加者100人
 - ・ キクイモ収穫祭 参加者100人
- レシピコンクールの開催
 - ・ キクイモレシピ研究者30名以上の確保

事業推進組織・体制

1 事業推進組織

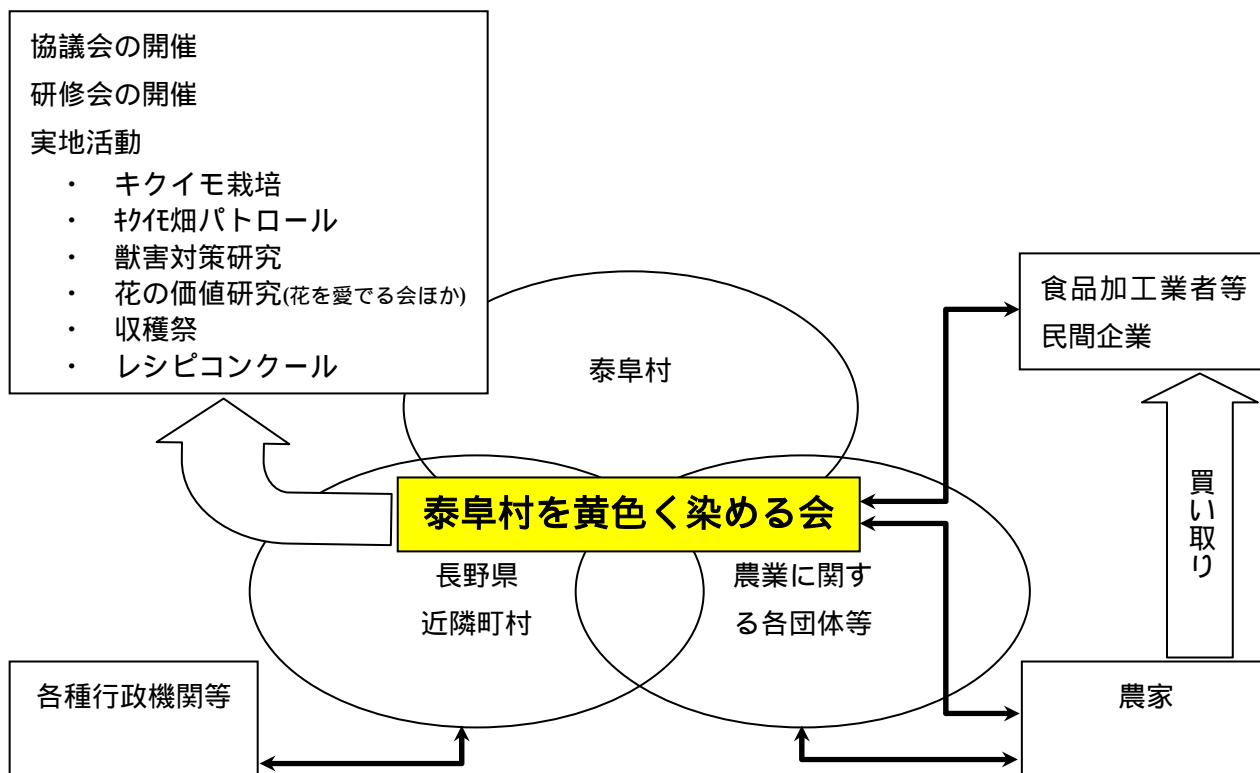
当事業は、村の基礎的な産業である農業をベースとして地域の振興を目指す事業ですから、官民一体となって取り組む体制づくりが必要です。

また小村であることから長野県や近隣町村との連携づくりも不可欠です。(広域連合や一部事務組合を通じて連携を進めています。)

そこで、母体となる協議会「泰阜村を黄色く染める会」を組織しました。

さらに全体のコーディネーターとして名古屋大学 大学院の西川芳昭先生(農学博士)の指導をいただくこととしました。

そして、キクイモに関心を持っていただいた方であればいつでも誰でも参画していただけることを念頭に、研修会や各種の実地活動を実施しました。



地域再生等担い手育成支援事業実績報告書

泰阜村を黄色く染める会 名簿			
	団体名	役職	氏名
会長	泰阜村	村長	松島 貞治
委員	泰阜村議会	議長	宮島 静喜
"	泰阜村農業委員会	会長	中島 秀明
"	泰阜村農村女性ネットワーク	代表	中島 スギ子
"	泰阜村商工会	会長	秦 和陽児
"	みなみ信州農協	泰阜事業所長	山崎 悟郎
"	泰阜村産直組合	組合長	宮澤 茂与
"	泰阜村営農支援センター	相談員	萩本 嘉彦
"	長野県下伊那南部ふるさと振興局	コーディネーター	吉川 一彦
"	長野県農業改良普及センター阿南支所	支所長	下島 秀昭
事務局	泰阜村	総務課	平栗 富士男
		振興課	原 啓一郎

2 事業実施スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会											
研修会											
キクイモ栽培 (サトイモハトール)	←						→				
獣害対策研究								←	→		
花の価値研究				↔							
収穫祭											
レシココンクール								←	→		
タネイモ配布											
事業報告											

農作物の植え付け時期の関係で、第1回の協議会およびタネイモ配布は国土交通省との契約前に実施した。

活動概要

1 協議会

(1) 第1回協議会

開催日：平成18年5月9日(火)午後1:30～

場所：やまびこ館

協議内容： 推進組織について
事業計画について
キクイモの漬け物試作品の試食会

(2) 第2回協議会

開催日：平成18年11月22日(水)午後1:30～

場所：泰阜村役場 農林指導室

協議内容： キクイモ栽培の経過について
収穫祭について
レシピコンクールについて
その他
ブランドシールを活用した原種の管理について

(3) 第3回協議会

開催日：平成18年12月13日(水)午後1:30～

場所：泰阜村役場 農林指導室

協議内容： キクイモレシピコンクールについて
キクイモ加工品への取り組みについて
原種管理について
その他
次年度以後の協議会の体制について

(4) 第4回協議会

開催日：平成19年2月11日(日) 午後1:30～

場所：泰阜村中学校 小会議室

協議内容： 今年度の事業のまとめと国土交通省への報告書について
次年度の事業計画について

2 研修会

(1) キクイモ栽培・加工による地域振興についての研修会(第1回研修会)

目的

テーマであるキクイモについては前年度に村内2カ所で試験的に栽培され、飯田市の業者が漬け物としての商品化に取り組んで試作品が手に入る程度の状況でしたが、この取り組みを広く村全体・下伊那南部地域に広げ、広域的な特産品開発につなげ、農地の荒廃を防ぐのに一役買うことのできるまで発展させることを目的とし、その第一歩として研修会としました。

実施時期・場所・参加者等

開催日：平成18年6月20日(火)

場所：泰阜村 田本 村営研修施設「カントリーハットやまびこ館」

講師：名古屋大学大学院国際開発研究科 西川芳昭助教授(農学博士)

(2) キクイモ事業検証のためのワークショップ(第2回研修会)

目的

今年度の取り組みの反省を参加者が共有し、今後の取り組みにうまくつなげていくためにワークショップ形式でまとめの研修会を行うこととしました。

興味のある方ならどなたでも参加できるよう一般にも参加を呼びかけました。

実施時期・場所

開催日：平成19年2月3日(土)

場所：泰阜村 田本 村営研修施設「カントリーハットやまびこ館」

講師：名古屋大学大学院国際開発研究科 西川芳昭助教授(農学博士)ほか

3 キクイモ栽培

タネイモを無料配布して耕作者を募るとともに、放置されて荒れてしまったコンニャク畑に植えたキクイモを中心に経過観察しました。シカやイノシシの獣害などにもあいましたが、漬け物原料として約 500kg を出荷し、今後も焼酎原料およびタネイモとして活用する予定です。



放置されたコンニャク畑、約 17 。手前は（主）下條米川飯田線。



重機による、農地への復旧作業。



7月上旬の畑の様子。黄緑色のキクイモが目立ってきた。



手数をかけずにおいたら、予想より草が多く残ってしまった。



10月上旬、花の時期も終わった。



イノシシによる獣害が生じたので、電気牧柵を設置し経過を観察中。現状は良好の様様。

4 花の価値研究

クワイモ畑の景観がきれいになるという効果以外に、花の価値がないかフラワーアレンジメント等を実施しながら研究しました。

本格的に生花として出荷するのは厳しいと思いますが、花としての使い道もありそうです。

実施時期：平成 18 年 9 月 15 日（金）
～平成 18 年 9 月 21 日（木）



5 収穫祭

クワイモに関心を持ってくれる人を増やす目的で、クワイモ収穫祭を実施しました。

クワイモの収穫体験と、漬け物以外のクワイモ料理の披露（昼食会）等を行いました。

クワイモを購入される方と直接交流でき、クワイモの価値を見直す人が多く、クワイモ生産の輪を広げることができました。

実施時期：平成 18 年 11 月 25 日（土）
午前 9：00～午後 2：00

場 所：左京川百年公園

参 加 者：約 100 名



6 レシピコンクール

クワイモが、一般的な食材として今以上に利用されるように、コンクール形式で調理方法を全国に募集したところ、41 の提案をいただきました。

若い世代を中心に、クワイモに関心を寄せしてくれる人を増やすことができました。

レシピ集を作成して、さらにクワイモの利用が進むようにはかっています。

実施時期：平成 18 年 11 月 25 日（土）
～平成 19 年 2 月 11 日（日）



広域的な取り組み

泰阜村は人口2,000人余りの、小自治体です。

もともと飯田市を中心とした広域行政圏を組織してきました。

従って、泰阜村が本事業に取り組みに際して、当初から複数市町村と協力して行うことを想定していました。

近隣町村内に13名のキクイモ耕作者ができました。

また、長野県農業生産振興チームから特用作物栽培マニュアルのキクイモの原稿依頼を受けるなど、この取り組みに対する注目の輪が広がっています。

本事業を通じて得られた成果

1 事業参加者の声

研修会のまとめとして、キクイモ事業について俳句を詠んでいただきました。

前向きな意見がたくさん披露されました。

「キクイモで ふくらむ夢に 心躍る」 ほか

2 目標数値の達成度

今年度に具体的な目標として掲げた数値は、概ねクリアできました。

3 キクイモ栽培要領

今後の課題

1 年間の事業を振り返って

18年度の栽培結果は、手間ををかけずに「荒れていた畑が農地として復活できた」、「景観も向上した」と言って差し障りないものと思います。

キクイモに関心を持ってくれる人が増えてきました。

2 次年度以後の事業展開について

協議会委員に生産者を加えて協議会を充実させ、キクイモの栽培および利用促進に取り組み、当初に掲げたフロー図によるキクイモを活用した地域振興に取り組みます。